

鳥屋野小学校 CS だより

令和6年11月28日
新潟市立鳥屋野小学校
CS事務局 第2号

10月29日に第2回学校運営協議会（コミュニティ・スクール 通称CS）が、鳥屋野小学校にて開催されました。その内容をお伝えします。



鳥屋野小学校
ホームページ

《学習参観》 会議に先立ち、出席を頂いた各委員の方々より校内を自由に巡りながら2時間目の授業を参観していただきました。



体育館でドレミファ集会の合奏・合唱の練習を参観しました。すぐにも本番ができそうなくらい上手な合奏と元気な歌声でした。1年生は随分と学校に慣れましたね。



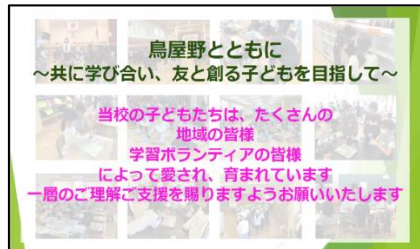
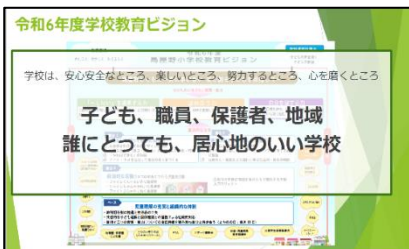
どのクラスも先生の話をしっかり聞いて授業を受けている様子を見ることができ安心しました。

《協議会》

校長説明資料より一部抜粋

1 校長説明

本間校長から、これまでの子どもたちの活躍の様子、学校の現状や前期学校評価の結果等から見える成果と課題の説明がありました。



2 ワークショップによる意見交換

「誰にとっても居心地のいい学校」にするために、「子どもたちにどんな力を付けさせたいか」、「学校は何をするべきか」、「皆さん（CSメンバー、保護者の立場も含む）にできることは何か」の3つの視点で意見交換を行いました。

冒頭、CS委員から、「学校に登校すること自体が辛い子もいる。誰にとっても居心地のよい学校である必要は果たしてあるのか」という貴重なご発言がありました。そのことに対し、本間校長から、「様々なお子さんが学校に登校してくることを理解し、学校が多様な考えを受け入れることができるようにしていくことは大切であると思う。それでも学校は、そのことも含めて、誰にとっても居心地のよい場所でありたいという理想は掲げていきたい」といった趣旨の返答がありました。そのことを踏まえた上で、意見交換がスタートしました。

① 「子どもに付けさせたい力」について

- ・学力 ・気にしない力 ・立ち直る力 ・環境が変わっても乗り越えられる力
- ・相手の立場を考える力 ・自分事として考える力 ・想像力 ・頼る力 ・頼られる力
- ・生きる力 ・生活能力 ・人間関係づくり ・友達との関係づくり ・自分らしく表す力

CS 委員：学力も大切かと思うが、社会生活の中では生きる力、生活能力が大切で、これは学校だけではなく、家庭での教育も大切ではないだろうか。

CS 委員：仕事柄、様々な年齢の子どもたちとのつながりが強く、個別に相談を受けることがある。親にも言えない、先生にも言えない相談をたくさん聴いてきた。ほとんどが人間関係の悩みで、子どもたちに付けてほしい力はしなやかに力強くなるための「気にしない力」だと感じている。

CS 委員：友達との関係がよければきっと学校に行きたいと思えるので、そのために友達との良好な関係づくりができる力を付けてもらえたらと思う。

CS 委員：もっと失敗や挑戦に寛容であってほしいし、他者を認める力が必要だと思う。

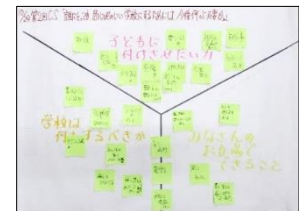
② 「学校は何をするべきか」について

- ・多様性を認めていく ・つながりを作る ・みんなを育てる ・きたえる場であってほしい
- ・保護者に、考えてほしいこと、気付いてほしいことを発信する ・楽しい場所にする
- ・見守る ・失敗に寛容でいてほしい

学 校：児童アンケートの「学校は楽しい」の項目で、約9割の子どもは「楽しい」「まあまあ」と肯定的な評価をしている。一方で約1割の子どもは「楽しくない」「まったく楽しくない」と回答している。この1割の子どもたちが、少して学校に居場所が作れるよう、支援の在り方を検討していきたい。

③ 「皆さんの立場でできること」について

- ・子どもの変化に周りが気付く ・学校以外の楽しい場所づくりをする
- ・話しやすい大人になる ・家庭は何をするべきかを常に考える
- ・親や学校に言えないことを聞いてやれる存在でありたい
- ・家庭や学校に続く、居やすい第3第4の場所づくりをする



CS 委員：子どもたちにとって、家庭が第1の居場所、学校は第2の居場所。学校と地域が頑張っても、そこにはやはり保護者の関りが重要。学校や地域が気付くようにしても、一番気付いてほしいのはまず保護者。子どものわずかな変化に気付けるのはやはり保護者である。まずは、家庭の基盤を保護者として整えたい。

CS 委員：「あなたを最終的に守るのは私たちですよ」という保護者としての姿を子どもに見せたい。そうでなければ、子どもは一切保護者に心を打ち明けなくなってしまう。

CS 委員：学校を見守り、応援する立場からすると家庭での教育が最重要であると思う。

CS 委員：卒園した子どもたちが、大きくなっても学校でのことを話してくれる関係があり、そのような風土は大切にしていきたい。

CS 委員：学校全体を見ると、大規模校であるにも関わらず、一人一人の子どもたちを成長させようと様々な工夫や対応をしようと先生方は努力していると感じている。それを地域や自分の立場から支えたい。

CS 委員：学校以外に、子どもにとって居心地のよい場所を少しでも増やすことが大切だと思う。

3 連絡

- ・第3回学校運営協議会は、令和7年2月20日(木) 午前9時25分から午前11時50分を予定しています。

【CS事務員より】

今回は、初めてのワークショップ形式による意見交換により、多数の意見が出されました。委員の方々の子どもたちを思う気持ちが伝わる、大変有意義な学校運営協議会になりました。これからも、学校・保護者・地域が一体となって鳥屋野小学校の子どもたちを支えていきましょう。